

令和6年度の事業報告書
(令和6年4月1日から令和7年3月31日まで)

特定非営利活動法人 鶴崎文化研究会

1 事業の成果

(1) 当会が管理を受託している「毛利空桑記念館」の来館者数は令和5年5月の新型コロナウイルスの5類移行後は徐々に増えてきているが、コロナ前に比べるとまだまだ少ない。

さらに、コロナ禍中の令和4年1月22日に発生した日向沖を震源とする地震で壁崩落などの被害を受けた「天勝堂」が未だに修復されない状況であり、来館者の見学やイベント運営などに支障をきたしている。

来館者に対しては、毛利空桑先生や展示物等についてできる限りの説明や案内を行なっている。

(2) 当会のもう一つの主な活動である毛利空桑記念館以外での「歴史ガイド」についても、コロナ禍前に比べまだまだ少ないが徐々に多くなっている状況である。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	具体的な事業内容	(A)実施日時 (B)実施場所 (C)従事者数	(D)受益対象者の範囲 (E)人数	事業費 (千円)
① 毛利空桑記念館の維持、管理、運営に係わる事業	(ア) 大分市から受託し、空桑記念館の維持、管理、運営を行った。 (イ) 空桑記念館に収蔵の空桑の遺品等の整理を行った。 (ウ) 空桑記念館内において、空桑や地域の歴史等についてガイドした。 (エ) 空桑記念館内で、地域の歴史、文化に関する展示会を月替わりで開催した。	(A)年間を通じて (B)空桑記念館 (C)200名	(D)空桑記念館来館者 (E)3,549名	2250
② 地域の歴史的文化、芸術、史跡を守り発掘し、維持していく事業	(ア) 鶴崎の歴史、史跡等のガイドのほか、鶴崎以外にも出張して鶴崎の歴史、史跡等について話をした。	(A)年間を通じて (B)各施設前等 (C)20名	(D)見学者 (E)515名	0
	(イ) 清正公二十三夜祭の協賛事業として、「劔八幡宮まつり囃子」と和楽器グループ「竹の音」の演奏会を開催した。	(A)令6・7・23 (B)空桑記念館前 (C)40名	(D)二十三夜祭参拝者 (E)数百名	63
	(ウ) 毛利空桑著「先啓紀行」の読み合わせ勉強会を開催した。	(A)毎月1回 (B)空桑記念館 (C)100名	(D)勉強会参加者 (E)100名	0
	(エ) 鶴崎公民館主催「ふるさと鶴崎の歴史教室」へ講師を派遣した。	(A)年5回 (B)鶴崎公民館 (C)9名	(D)歴史教室参加者 (E)40名	0
	(オ) 協蘭室墓所の清掃を行った。	(A)令6・12・3 (B)協蘭室墓所 (C)5名	(D)墓参拝者 (E)数不明	0
	(カ) 毛利空桑墓所の清掃を行った。	(A)令6・12・22 (B)毛利空桑墓所 (C)5名	(D)墓参拝者 (E)数不明	0

事業名	具体的な事業内容	(A)実施日時 (B)実施場所 (C)従事者数	(D)受益対象者の範囲 (E)人数	事業費 (千円)
③ 地域の歴史的景観と環境、遺産を守り社会と調和させる意義を啓蒙する事業	(ア) 鶴崎歴史探訪歩こう会に参加し、鶴崎地区にある4寺の歴史等について説明した。	(A) 令和7・2・2 (B) 鶴崎地区内 (C) 3名	(D) 市民 (E) 50名	0
④ 地域の新しい文化、芸術を形成し発展させていく事業	実施なし			
⑤ 子供たちが地域に誇りをもって成長できる環境づくりと教育する事業	(ア) 鶴崎小学校企画の勉強会へ講師を派遣した。	(A) 令和6・11・9 (B) 鶴崎小学校 (C) 1名	(D) 5年生児童と保護者 (E) 51.5名	0
	(イ) 鶴崎小学校児童に対し、空桑記念館で勉強会を実施した。	(A) 令和6・12・13 (B) 空桑記念館 (C) 1名	(D) 6年生児童 (E) 57名	0
	(ウ) 鶴崎小学校児童と天勝堂の掃除をしながら説明した。	(A) 令和7・2・28 (B) 空桑記念館 (C) 1名	(D) 6年生児童 (E) 60名	0
⑥ 地域の芸術、文化を形成する担い手を育成する事業	(ア) 日田地区へ研修旅行に行き、ガイドのやり方などについて勉強した。	(A) 令和6・11・11 (B) 日田市 (C) 17名	(D) 研修旅行参加者 (E) 17名	145
⑦ 地域の安全、安心を守る活動や街おこしなどの活動への助言、支援事業	実施なし			
⑧ 歴史的に意義のある文献、文書を翻訳して出版物として販売する事業	(ア) 長野浩典著「空桑・源兵と鶴崎有終館」を作成して図書館等へ寄贈するとともに一般希望者へも販売。	(A) 令和6・9 (B) 空桑記念館 (C) 1名	(D) 図書館、希望者 (E) 30名	17
	(イ) 藤澤久美子著「吉岡氏系図」の作成にあたり古文書等の解説をサポートするとともに、図書館等への寄贈及び一般希望者へ販売した。	(A) 令和7・2 (B) 空桑記念館 (C) 1名	(D) 図書館、希望者 (E) 30名	30
⑨ 歴史的景観、環境、史跡を写真集やDVDとして編集して販売する事業	実施なし			
⑩ 地域の民芸品や土産物販売を通じて普及させる事業	(ア) 毛利空桑関連グッズ(タオル等)や吉岡妙林の人形(みょうりんちゃん)等を販売した。	(A) 随時 (B) 空桑記念館 (C) 5名	(D) 市民 (E) 10名	0
⑪ その他目的達成のための事業	特になし			

令和6年度 活動計算書
(令和6年4月1日から令和7年3月31日まで)

特定非営利活動法人鶴崎文化研究会
(単位 円)

科	目	金	額
I 経常収益			
1 受取会費			
正会員受取会費	63,000	63,000	
2 受取寄付金			
受取寄付金	52,000	52,000	
3 受取助成金			
受取民間助成金	0	0	
4 事業収益			
空桑記念館の維持運営事業収益	3,058,000		
地域の歴史文化を守る事業収益	270,000		
地域の歴史文化の担い手育成事業収益	0	3,328,000	
5 その他の収益			
受取利息	813		
雑収入	277,996	278,809	
経常収益計			3,721,809
II 経常費用			
1 事業費			
(1) 人件費			
空桑記念館管理者手当	2,250,300		
人件費計	2,250,300		
(2) その他経費			
事業費	255,000		
その他経費計	656,520	255,300	
事業費計	255,000	2,906,820	
2 管理費			
(1) 人件費			
役職手当	120,000		
人件費計	120,000		
(2) その他経費			
总会費	95,284		
事務費	326,918		
専門部活動費	250,000		
通信費	10,645		
交際費	21,000		
図書費	88,000		
慶弔費	6,872		
雑費	193,057	394,577	
その他経費計	991,776	1,111,776	
管理費計	1,393,296	1,513,296	
経常費用計			4,018,596
当期経常増減額			▽ 296,787
前期繰越正味財産額			2,248,282
次期繰越正味財産額			1,951,495

令和6年度 貸借対照表

(令和7年3月31日現在)

特定非営利活動法人鶴崎文化研究会

(単位 円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	1,951,495		
未収金	0		
流動資産合計		1,951,495	
2 固定資産			
固定資産合計		0	
資産合計			1,951,495
II 負債の部			
1 流動負債			
流動負債合計		0	
2 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			0
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		2,248,282	
当期正味財産増減額		▽ 296,787	
正味財産合計			1,951,495
負債及び正味財産合計			1,951,495

令和6年度 財産目録

(令和7年3月31日現在)

特定非営利活動法人鶴崎文化研究会

(単位 円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金			
手元現金	105,642		
大分銀行鶴崎支店普通預金	1,615,653		
豊和銀行鶴崎支店普通預金	172,153		
九州労働金庫鶴崎支店普通預金	58,047		
未収金	0		
流動資産合計		1,951,495	
2 固定資産			
固定資産合計		0	
資産合計			1,951,495
II 負債の部			
1 流動負債			
流動負債合計		0	
2 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			0
正味財産			1,951,495